

請願第 95号

平成27年 2月16日

川崎市議会議長 浅野文直様

川崎区在住者

ほか 5,699名

障がいのある青年たちの学校卒業後の夕方支援の充実に関する請願

#### 請願の要旨

障がいのある青年たちの学校卒業後の夕方支援の充実を求めます。

#### 請願の理由

中高校生タイムケア事業、放課後等デイサービス事業などの施策整備により、重い障がいのある子どもたちの在宅生活において、平日午後6時頃まで、家庭以外での生活が整ってきて、親の介護負担の軽減と、継続就労の保障も徐々に充実してきました。しかし、高校を卒業し、生活介護施設等に通うようになると、それまで午後6時過ぎて帰ってきていた子どもが、3時半に帰ってきます。川崎市内の通所施設では介護職員の雇用環境を理由に、数年前より、かえって帰宅時間が早まっている傾向があります。「学校時代のように、食事作りが終わる時間まで見てもらい楽しく過ごしてくれれば、在宅生活を続けられるのに、体も大きくなって、もう無理。」「学校時代に、苦勞して何とか協力し合っただけで就労を継続してきたのに、子どもが社会に出たら、なぜ逆に早く帰されて、親は仕事を辞めざるを得ないのでしょうか。」重い障がいのある青年の家族の悲鳴は、続いています。そして数少ない他の預け場所を探したり、やむなく親が仕事を辞めたり短縮したりしてつないでいていますが、各施設で、必要に応じて延長対応があれば、家族それぞれが社会の一員として自分らしい時間を過ごして、帰宅後は家族としてもっと穏やかな時間を過ごすことができます。その

ためには学齡期と同じ午後 6 時までのケア体制確立が必要です。施設もあり、人材もいて、車もある施設関係者の皆さんが、より良いケア環境を作り出していけるよう、川崎市関係局の適切な施策と指導を強く求めます。

#### 紹介議員

橋	本	勝
後	藤	晶 一
織	田	勝 久
佐	野	仁 昭
松	川	正二郎
猪	股	美 恵
月	本	琢 也
粕	谷	葉 子
為	谷	義 隆
竹	田	宣 廣
三	宅	隆 介